



Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-8866 / FAX 0178-43-9077
http://kouryo-high-school.com / メール kouryo@chibasakuen.ac.jp

校長先生八戸市功労者に選出



10月28日(木)八戸市各賞が発表され、長年にわたるバトントワリングの普及、後進の育成、地方文化の振興に貢献したとして清野耕司校長先生が功労者に選出された。校長先生は、11月4日(木)に八戸グランドホテルで行われた表彰式に参加され、小林市長から賞状と銀盃を授与された。校長先生は、「ここ八戸にバトントワリングが広まったということが実感される賞で大変嬉しく思います。これまでともに活動してきた小・中・高校生そしてクラブチームなどのバトンに関わる人たちの支えがあり、その代表としてこの賞をいただくことができたと皆さんに感謝しております。ありがとうございました」と喜びの言葉を述べた。

校長先生のもとにたくさん届いたお花は、華道家部長の浄法寺七海さん(3年・三沢第五中学校出身)、副部長の鈴木篠さん(2年・大館中学校出身)、伊藤香さん(1年・根城中学校出身)の3人が生け、職員玄関に飾られた。



バトン東北大会

11月7日(日)、第50回マーチングバンド・バトントワリング東北大会のビデオ審査会が行われ、バトン部が金賞を受賞し全国大会出場の切符を手にした。全国大会は12月11日(土)、幕張メッセイベントホールで開催されるが、今後のコロナウイルス感染症の状況をみながら開催方法が決められる。どんな状況になるにせよ、メジャレットたちが目指す自分たちのらしい演技で全国で金、ノードロップの目標は変わらない。



サッカー新人戦

10月30日(土)、県高校サッカー新人大会が行われ、本校は弘前中央高校と対戦した。弘前中央高校は、県選手権大会でも戦った相手で作戦をたてて臨んだが、0対3で敗れた。新部長となった梅内拓真君(2年・名川中学校出身)は3年生が引退し、力が試された試合となったと振り返る。「選手権から約一週間、同じ相手だったので少し意識したところもあったと思います。相手は1、2年生が中心。自分たちは新戦力で挑みました。試合は、いい場面があったものの自分たちのサッカーができなくて、崩されて失点しました。どんな相手であっても、対応できるように向陵らしいサッカーを追求していきたいです。選手権でベスト8にはなりませんが、練習から高め合って、もっと高いレベルで戦えるよう部員全員で努力したいと思います」と語った。



服育講座

おしゃれは自分のため 身だしなみは人のため
11月1日(月)、1、2年生対象に服育講座が行われた。講師は、(株)コナカ八戸類家店のフアッシュョニアドバイザー清水さん、上住さんのお二人。スーツや制服の着こなし方、ネクタイの結び方についてご指導いただいた。普段、ネクタイを結ぶことのない女子生徒たちは、男子生徒に聞いたり講師の方を見ながら、何度も挑戦していた。身だしなみを整えることは相手への気遣いの第一歩。その気遣いが好印象を与え、自分に自信がつくという。生徒たちは、洋服の着こなしマナーはもちろん、人のために何かをすることが自分の成長につながることを学んだ。



スケート教室

11月9日(火)、感染症対策を実施し一年ぶりとるスケート教室がテクノルアイスパーク八戸で行われた。昨年度は中止となり、本校で初めてのスケート教室となった前村愛梨さん(2年・北稜中学校出身)は「5年ぶりに滑りました。スケートは、家族としか行ったことがなかったので友達と滑るのは楽しかったです。今までほとんど滑れなかったのですが、皆のおかげで少し滑れるようになりました」と感想を述べた。また、人生初スケートという生徒たちも、補助器具を使って体を支えたり、級友らの助けを借りながら氷上のスポーツを楽しんでいる様子だった。各自自由滑走を楽しんだ後、当日一番の盛り上がりを見せたのは生徒対教員チームのアイスホッケー対決だ。教員8人に対して、ステックの数だけ生徒が参加。教員チームから得点をあげると生徒たちからの拍手、足を鳴らす音が会場を包んだ。各学年の代表生徒たちと連戦のため、教員チームには徐々に疲れが見えたが、観覧席も氷上も笑顔が絶えないスケート教室となった。



10月27日(水) 表現活動講座

ダンスコース

講師 ダンススタジオのME MOE 沢上りんか先生
 1年 関川 陽菜(白山台中学校出身)
 久しぶりにダンスをしてとても楽しかったです。りんか先生が分かりやすく教えてくださったので難しそうだと思う振りも上手にやることができました。りんか先生には、以前少しだけ教えていただいたことがありました。りんか先生が教えるのが上手でノリノリで手本を見せてくれるので、自分も気持ちをのせてできて楽しかったです。体力がなく最後は疲れてしまい適当になってしまった部分もあるけれど、楽しんで取り組むことができました。先生に久しぶりに会えて嬉しかったです。



1年 石岡 真衣(小中野中学校出身)
 沢上りんか先生から教わりました。教え方が丁寧でとても分かりやすかったです。手を叩く、ジャンプをする、回るなど細かい動きを合わせる、体全体でリズムを取る、動作を大きくすることなどを組み合わせ、ダイナミックかつ繊細なダンスが完成していく過程を体感できました。たくさんミスもありましたが、何とか形になりました。難しかったけれど、楽しく活動できて良かったです。普段あまり話さない人や先輩たちともコミュニケーションが取ることができて嬉しかったです。

よさこいコース

講師 はちの(よさこい)の会 玉川恵理先生・工藤幸子先生
 1年 山口 大地(三戸中学校出身)



今回の講座で、できないこともやればできるよになるということを学びました。よさこいは手の動きや体の向きがとても大切だと感じました。特に手の使い方や鳴子がなるので難しいと思いました。最初は全然踊ることができていませんでしたが、回数をこなしていくうちにコツをつかみ、自然に体も動くようになっていったので良かったです。また、よさこいは他の祭りや歴史が浅いこと、大学生が考えたことなどを学びました。他の祭りのことも調べてみたいと思いました。最後は練習の成果を発表しました。皆の発表を見て感じたことは、目線など細かいところを直すだけでも踊りの完成度が違ってくるということです。普段から、細かいところに目配りしたり、小さなことでも気づいたことを改善していけば、もっと自身の生活が向上すると思うので、実行していきたいです。

ジャグリングコース

講師 本校教員 川村 隆先生
 2年 類家 侑弥(第一中学校出身)

ジャグリングは簡単だろうと思っていましたが、ボール2個も満足にできず苦戦しました。見かねて川村先生が、ボールをつかむときの角度や体でリズムを取るなど細かく教えて下さいました。頭では理解できても、実践するのは難しかったです。休憩に入るまでにボール3個でできるようになるのを目標にしましたが、できなくて悔しかったです。今回は午前中の活動でしたが、3級に合格できて良かったです。

マジックコース

講師 青森県奇術連盟副会長 司 天成先生
 1年 川村 一瑛(五戸中学校出身)



3年 三浦 優矢(第二中学校出身)
 3回目のジャグリングでした。毎回「ジャグリングをうまくやりたい」と思って取り組むのですが、コツをつかめず最初の二時間近く、ボール2個の基礎練習をしました。残りの一時間でやっと3個のボールにチャレンジしました。DVDや周りの人がやっているのを見て真似をしたりもしましたが、上手くいきませんでした。練習しなければ、上手にならないのだと実感しました。就職先でも弱音を吐かずコツコツとやるべきことに取り組みたいと思います。

マジックコース

講師 本校教員 川村 隆先生
 1年 川村 一瑛(五戸中学校出身)



身近な物を使ってのマジックと一つでもできるようなろうと頑張りました。輪ゴム、お札、スプーンを使い一つずつ種類かきをしてもらいながらやり方を教えてもらいました。他のコースも体験したいです。

1年 梶館 謙信(船橋市立宮本中学校出身)
 最初は上手くできなくて、楽しめなかったけれど、マジックを間近で見られる機会がないので面白かったです。いくつかマジックを覚えてもらいましたが、一番簡単だったのはお札を浮かせ

太極拳コース

講師 永光拳舎 野澤紀美子先生・川村美智子先生
 1年 清富 鯉生(世田谷区立船橋中学校出身)



今回、たくさんマジックを教えるもりました。輪ゴムの貫通マジック、五円玉のエレベーターマジックなど、家にあるものばかりでできるものでした。しかし、どれも物にすることができず自分

の不器用さを再認識しました。でも友人とマジックを見せ合ったりしながら活動できたので楽しかったです。実際のマジックを見たのは初めてだったので貴重な体験となりました。

太極拳コース

講師 本校教員 川村 隆先生
 1年 清富 鯉生(世田谷区立船橋中学校出身)



ゆっくりな動きが多くて見ている分には楽しそうだと思いますが、いざやってみるとすごく大変で結構疲れました。足の運びと手の運びが難しく苦戦しました。でも、動きを覚えればどこでも簡単にできると思いました。

1年 佐々木 侑玖(名川中学校出身)
 太極拳とはどんなものだろうと思いついて、できなくてもいいから一生懸命やろうと挑戦しました。

太極拳コース

講師 本校教員 川村 隆先生
 2年 高橋 宏輔(大館中学校出身)

準備運動で肩や腕が辛くなりました。太極拳というゆったりとしたイメージでしたが、動きはゆったりでも全身を使うので体が痛くなりました。たくさん体を体験しましたが鶴と蛇の闘争が面白かったです。太極拳は空手同様護身用の拳法だと知りました。

2年 大村 若菜(蛟中学校出身)
 初めて太極拳に挑戦して感じたことは、始める前より落ち着きが出たのと、静かな曲で行ったので正直眠くなりました。様々な型、技があり、覚えるのが大変でしたが、先生の真似をしたり、先生の丁寧な教えもありついていけるようになりました。途中、見せてもらった鶴と蛇の太極拳は、素早い動きで真似するのは無理でしたが見ていて楽しかったです。ずっと気になっていた太極拳に触れることができて最後までじっくり取り組みました。

太極拳コース

講師 本校教員 川村 隆先生
 3年 松橋 拓真(階上中学校出身)

最初は、一段基から八段基の型の動きをやりました。偶数のときに足を肩幅に広げるやり方でした。その後、新しくできたという八式をやりました。八式は簡単でした。次は二十一式をやりました。目の前に相手がいると思つてやってみると少し難しく感じました。でも、どの動きも繰り返しやると簡単に動けるようになりました。また、二十四式は左右、上下の動きが増えましたが、楽しくできました。特に楽しかったのが、鶴拳と蛇拳の組み合わせです。先生の動きがとても綺麗で印象に残っています。中国武術の歴史を調べたり、太極拳のことをもっと知りたいと思いました。

